

お医者さまは、さつそく手当をしてやつてな。無事に、かわいい赤ん坊をとりあげてやつたんだ。

家があんまり貧乏びんぱうそうなので、お金をとらずにそのまま帰ろうとしたんだ。するとな、引き止められ、ごちそうを出されたんだ。

そのごちそうはな、町の一流の店の料理と変わんなかったんだ。

ところがな、その晩ばん、横田町のお金持ちの家で結婚式けっこんしきがあつたんだ。けれど、用意した料理のおぜんが急に一つ足りなくなつてな、台所のもの者がまごつくということがあつたんだつて。後で考え合わせてみると、北川きたがわのキツネがぬすんだんだということがわかつたんだ。

お百姓ひやくしょを助けた藤兵衛とうべえとは、このときの恩おんを返そうとしたキツネだとわかつてな、それで村の人々は小松こまつの集落の北側に神社を造つてな、このキツネを祀まつつて藤兵衛稻荷とうべえいなりと名づけたんだ。